

彩球オーディオ倶楽部 第74回新春発表会プログラム

テーマ：小型スピーカーの楽しみ方

日時：2024年1月21日(日) 12:30 開会

場所：ヤマヤ新館（春日部）

1. 開会の挨拶（12:30～）

挨拶	樫村会長
新執行役員紹介	樫村会長
機材説明	総合司会 野中氏

2. 自作小型スピーカーの発表（25分×6作品）（12:40～15:20）

課題曲：When You Wish Upon A Star 歌：Susan Osborn

CD：MJ Technical Disk NO.13 Truck 01 MJCD-1012

(1) 利根川 寛氏（12:40～13:05）

作品名：FE168NSによるバックロードホーン

フォステクスの16cmフルレンジは、裸で鳴らすと良いが、バックロードホーンにすると抜けの悪い音になる場合があります。過去の失敗を再検討し、次の2点に配慮して設計・製作しました。(1)ホーンは小さめにする。(2)空気室(ユニットが収まる部屋)の容積は大きくする。箱としてはどちらも中途半端な方向への変更ですが、これによりユニットの素の鳴りをできるだけ損ねずにまとめました。

(2) 中島 孝嗣氏（13:05～13:30）

作品名：マルチアンプ内蔵型3Way全指向性スピーカー

2017～2018年にMJフェスと当倶楽部で発表した作品の改良版で、昨年の第5回MJフェスで発表済です。外観やユニット構成は同じですが、LCネットワークに変えマルチアンプシステム一体型としました。構造的にもバックロードのホーン長を短縮してASW部のスペースを拡張。長さ1m超の共振ダクトを内蔵したりASWの出力ポートをバックロードホーン内部に移動することで低域レンジを40Hzまで伸ばしました。

(3) 谷本 裕昭氏（13:30～13:55）

作品名：げんこつポリカバッフル（20cmフルレンジ）

軽量のポリカーボネイト2mm厚の素材を使い、バッフル型シンプル構造の後面解放スピーカーシステムとテクニクスの通称「げんこつ」20cmフルレンジユニットを組み合わせたものです。スピーカーユニットの振動板に追従して振動する独自のバッフル構造と固定したユニットへそのポリカバッフルをポリカネジで取り付けることでバッフル板の振動を抑制しない構造を採用しています。それにより後面解放ながら低域再生と音場再現を実現しています。

(4) 樫村 幸三氏（13:55～14:20）

作品名：チョツト贅沢な20cm3Wayシステム

かつてメーカー製高級システムに採用され、今では貴重な壺型ヨークアルニコのユニットがありましたので、私なりにまとめてみました。低音ピクチャー製20cm、中音パイオニア製12cm、高音パイオニア製25mm微粒ダイヤモンド振動板ドーム型ウッドホーン付、箱は約600程のバスレフ、ネットワークは800Hz、5kHz、12dB落ちクロス型です。このシステムでは抵抗によるレベル調整はしておりません。ユニットの能率とクロスポイントにてバランスを取っています。

休憩 10分（14:20～14:30）

(5) 米沢 清氏 (14:30~14:55)

作品名：フルレンジスピーカー 大阪音響 ED・100 励磁型 口径 10 インチ + ゴトウユニット SG “17s16

今年、大阪音響の ED-100 励磁型口径 25cm Vc=3Q を購入しました。MJ 社のスピーカー技術の 100 年 No. 42 で紹介されています。励磁電源はスライダックを接続し、音楽を聞きながら適正な電圧を探し、作り直しました。箱は平面バツフルに枠を取り付けた簡単なものです。大きさは幅 400 高さ 900 奥行 258mm。ツイーターはゴトウ SG-17s16 露を使用します。4kHz 位でクロスさせています。音は思ったより古くなく、昭和歌謡でしたら十分聴けると思います。

(6) 栗田 茂氏 (14:55~15:20)

作品名：FW168HR & T250D トールボーイ型スピーカーシステム

当初、角錐型の QWT として製作しましたが、その後の検討で QWT としての効果は薄いことが判明しました。開口部にダクトを設けたことによりバスレフ動作が優先されてしまったようです。しかしながら、内部に設置した台形の音道板により トールボーイで発生しがちな定在波を抑える効果がありました。考え方に誤りはありましたが、結果的には、30Hz~20kHz までフラットでかつクリアーなサウンドを実現できました。

3. 協賛企業のデモンストレーション 株式会社トライオード様 (15:20~16:00)

休憩 10分 (16:00~16:10)

4. 小澤 隆久先生 講演「小澤式ステレオ再生の試聴」(16:10~16:50)

小澤式ステレオ再生と通常のステレオ再生で、音質がどのように変化するのか聴き比べを行います。

5. 関口英雄先生を偲んで (16:50~17:00)

当倶楽部の「ジャズ四方山話」で、ジャズの魅力を語っていただいた関口英雄先生が 2023 年 12 月に永眠されました。追悼のジャズ演奏を行い、先生のご冥福をお祈りいたします。

6. 閉会の挨拶 櫻村会長 (17:00~17:05)

(撤収作業・懇親会場設営 ~17:30)

7. 懇親会 (17:30~)

発表会場にてお楽しみの懇親会を開催します。料理、酒、ノンアルコール飲料を準備しております。

皆様の多数のご参加をお待ちしています。 会費：男性 5,000 円 女性：4,000 円

使用機器

発表会で使用した機器は、すべて株式会社トライオード様から提供していただきました。

プリアンプ・・・EVOLUTION PRE 真空管プリアンプ

メインアンプ・・・EVOLUTION KT88pp 真空管アンプ、EVOLUTION 300 WE300Bs 真空管アンプ、TRV-A150XR

CD プレーヤー・・・TRV-CD6SE 真空管 CD プレーヤー

スピーカー・・・スペンドール Classic 1/2

- ・コロナ対応のため、開演中の私語はご遠慮ください。なお、会場内でのマスク着用は任意です。
- ・一人でも多くの方が着席できますよう、お荷物等は空席に置かず足元に置くようにお願いします。皆様のご協力をお願いいたします。